

Ⅲ 広域プロジェクト・ソフト施策

○主な関連事業の年次計画

実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
二次交通	県 約122億円	えちぜん鉄道の高架化								
	民間			北陸本線へのICOCA導入・運用						
	県・町・民間		自動走行システムの実証		自動走行システムの実用化・新モビリティサービスの導入					
	県・市町・民間	並行在来線 需要予測調査	収支予測調査		並行在来線準備会社設立 経営計画策定		株ハピラインふくいへ改称 並行在来線会社への増資・本格会社移行		開業・運行	
	県・市町・民間				設置可能性調査	並行在来線新駅設置				
	県・市町・民間						並行在来線 駅・駅周辺の整備 の検討	駅機能や 交通結節機能の向上、 駅中心のまちづくり		
	民間	新幹線駅等からの二次交通の充実								
市町・民間	広域バスや特急バスの運行									

Ⅲ 広域プロジェクト・ソフト施策

○主な関連事業の年次計画

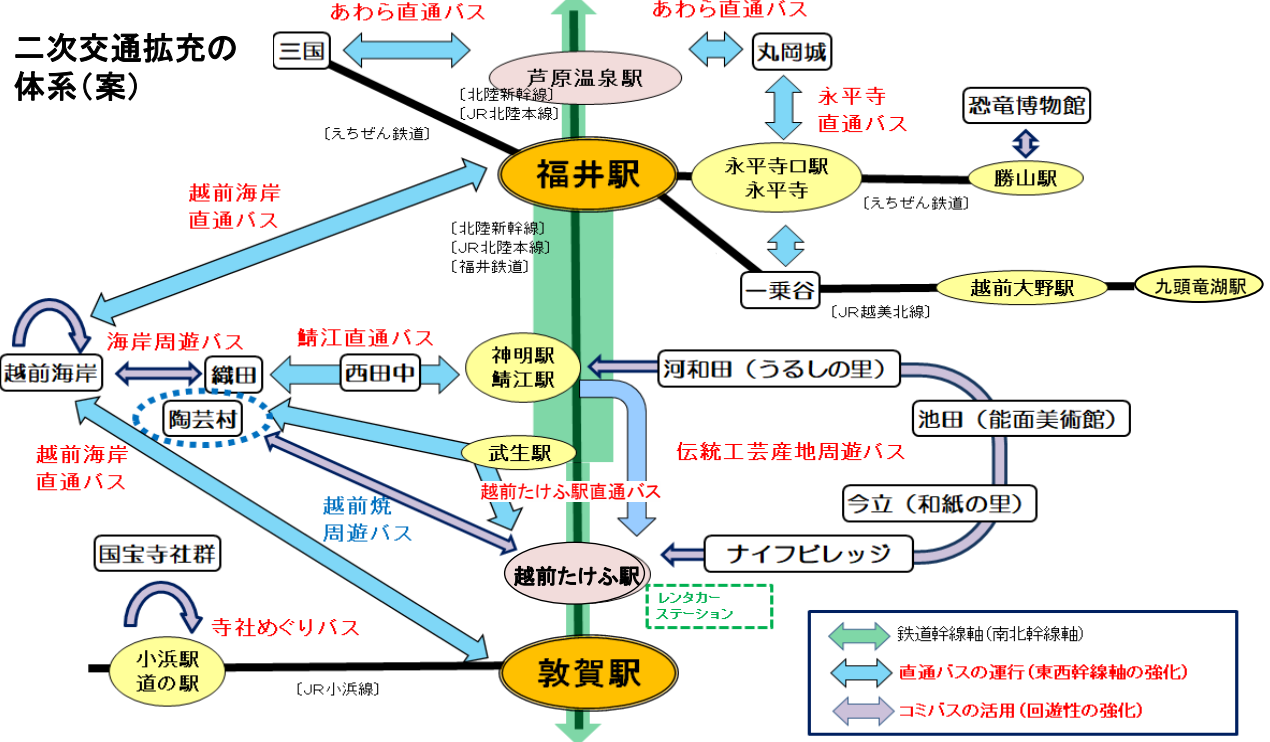
	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
里山ビジネス	県 — 約4億円 県 — 約2億円	中山間地域の誘客施設の整備									
		ふくい農業ビジネスセンターの整備		ふくいワインカレッジの開講							
			林業研修センターの整備								
発文化	県・市町 —	日本遺産認定の拡大									
景観づくり	県・市町 —	広域景観ガイドライン策定	文化的景観保存調査	福井ふるさと広域景観の形成							
	県・民間 —	屋外広告物の撤去・改修									
	県・市町・民間 —	花の景観づくり									

主体	県・市町・民間	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (1) 地域公共交通ネットワークの拡充

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ〔P3再掲〕 ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸〔P3再掲〕 ・福井市内循環鉄道の調査(県、2016) ・えちぜん鉄道の高架化〔P3再掲〕 ・北陸本線へのICOCAの導入(民間、2018) ・並行在来線新駅設置可能性調査(市町、2020) ・福井県並行在来線経営計画策定(協議会、2021) ・福井県並行在来線地域公共交通計画策定(協議会、2021) ・並行在来線新駅設置に向けた測量・設計(王子保・武生間)(民間、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドバス等の実証運行〔P60再掲〕 ・嶺北地域公共交通計画の策定(県・市町・民間、2022~2023) ・路線バスへのICOCA導入(県・民間、2022~) ・並行在来線新駅設置に向けた詳細設計(王子保・武生間)(民間、2023~) ・ハピラインふくい観光列車導入調査(県、2023~) ・えちぜん鉄道 恐竜列車の導入(県・民間、2023~) ・福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの改修(県・民間、2023~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅からの二次交通の確保〔P17他再掲〕 ・JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定〔P60再掲〕 ・JR越美北線の利便性の高いダイヤ設定 ・小浜線での観光列車の運行 ・福井鉄道、えちぜん鉄道へのICOCA導入 ・福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの運行 ・えちぜん鉄道 恐竜列車の運行

新幹線駅を中心として、JR・ハピラインふくい、地域鉄道、バス等を一体的に組み合わせ、利便性の高い地域公共交通ネットワークを実現します。



今後の拡充方針

- (JR・ハピラインふくい、地域鉄道)
- ・ハピラインふくい、地域鉄道の事業連携を強め、経営とサービスを強化
 - ・ハピラインふくいへの新駅設置
 - ・小浜線の便数・ダイヤ見直し、観光列車の運行
 - ・越美北線の利便性の高いダイヤ設定
- (路線バス、コミュニティバス)
- ・市町を超える広域路線バスの維持・拡充
 - ・新幹線駅から地域鉄道駅等へのバスでの接続強化
 - ・コミュニティバスを休日の観光地循環バスに活用
 - ・福井駅から主要観光地への特急バスを運行
 - ・住民との協働バス運行
- (その他)
- ・AIやIoT等を活用した新モビリティサービスの導入(観光地や宿泊施設等と連携した観光型MaaS(※)等)
 - ・キャッシュレス化の推進
 - ・駅や公共施設等への太陽光や再エネ設備の導入
 - ・観光客向けカーシェアリングの拡大
 - ・道路空間の再配分により、歩行者や自転車の快適な利用環境を確保

※MaaS (Mobility as a Service)
ICTを用いて複数の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うことが可能となるサービス

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	～2023

III - (2) 里山里海湖ビジネスの拡大

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模農業者チャレンジ応援基金造成(県、2015) ・ふくい農業ビジネスセンターの設置(県、2016) ・ふくい林業研修センターの整備(県、2017) ・農遊コンシェルジュの認定(県、2021～2022) ・新たなトレイルコースの整備(若狭町、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地と農村を回遊する仕組みづくり(県、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖ビジネスを企画・運営する人材の育成(県、2018～) ・ふくいワインカレッジの開講(県、2018～) ・農村を回遊する取り組みを促進(県、2023～) ・オーベルジュの誘致(県、～2025)

福井県の農林水産物の生産はコメが中心であり、園芸や食品関連製造業の育成が必要です。大規模施設園芸等の導入に加え、「利益の上がる農林水産業」に転換するための柱の一つとして、里山里海湖の地域資源を活かした誘客と新商品の開発を一体的に進め、特色ある里山里海湖ビジネスを展開します。

ふくい農業ビジネスセンター

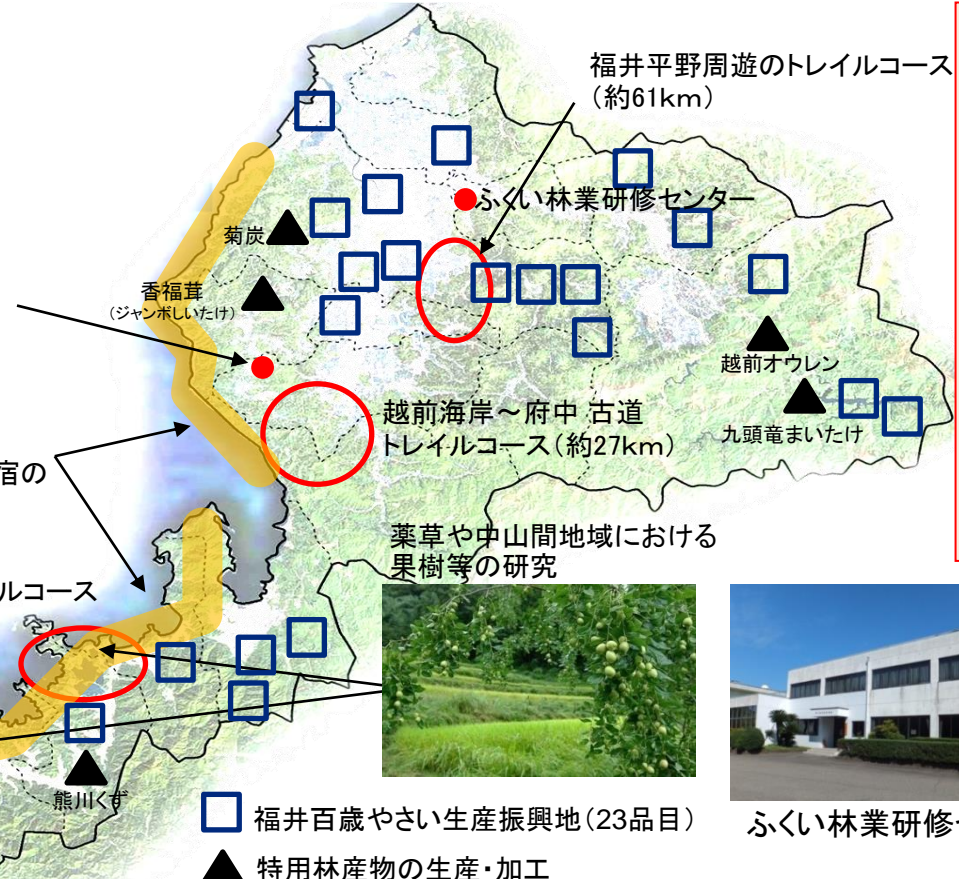


ワインブドウ栽培、ワイン醸造に関する人材育成の機能追加

漁家民宿の充実

三方五湖周遊のトレイルコース(約26km)

福井平野周遊のトレイルコース(約61km)



薬草や中山間地域における果樹等の研究



□ 福井百歳やさい生産振興地(23品目)

▲ 特用林産物の生産・加工

- 2023年度実施事業【福井県】
- ・オーベルジュ(宿泊機能付きレストラン)の誘致
 - ・観光地と農村を回遊する仕組みづくり(農遊促進事業 10,620千円)
 - ・里山里海湖ビジネス実践者の育成(里山里海湖ビジネス実践力強化事業 4,687千円)
 - ・ワインブドウ栽培、醸造にかかる人材の育成(ふくいワイン事業 5,658千円)
 - ・林業ビジネスの拠点機能の強化(ふくいの林業スタートアップ事業 4,406千円)
 - ・トレイル関連の情報発信(トレイルアプリの運営)(ふくいの森林の魅力新発見事業 251千円)



ふくい林業研修センター

林業・木材産業や特用林産物等に関する人材育成、生産・販売支援の機能を強化

主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形文化遺産「和食」登録(2013) 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」(国、2015)、「北前船寄港地・船主集落」、「越前焼(六古窯)」(国、2017)、「中世・近世のまちづくり」(国、2019)、「鉄道遺産」(国、2020)認定 日本農業遺産「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」認定(国、2018) 	<ul style="list-style-type: none"> 一乗谷ミュージアム化の推進[P7、8再掲] 	<ul style="list-style-type: none"> 無形文化遺産の登録 大河ドラマや朝の連続テレビ小説の誘致

福井県の歴史遺産や伝統文化の価値を、日本遺産や世界遺産への登録等により高め発信し、インバウンド誘客を強化します。また、学術的な調査研究に加え、遺跡復元や周辺の景観づくりを促進します。

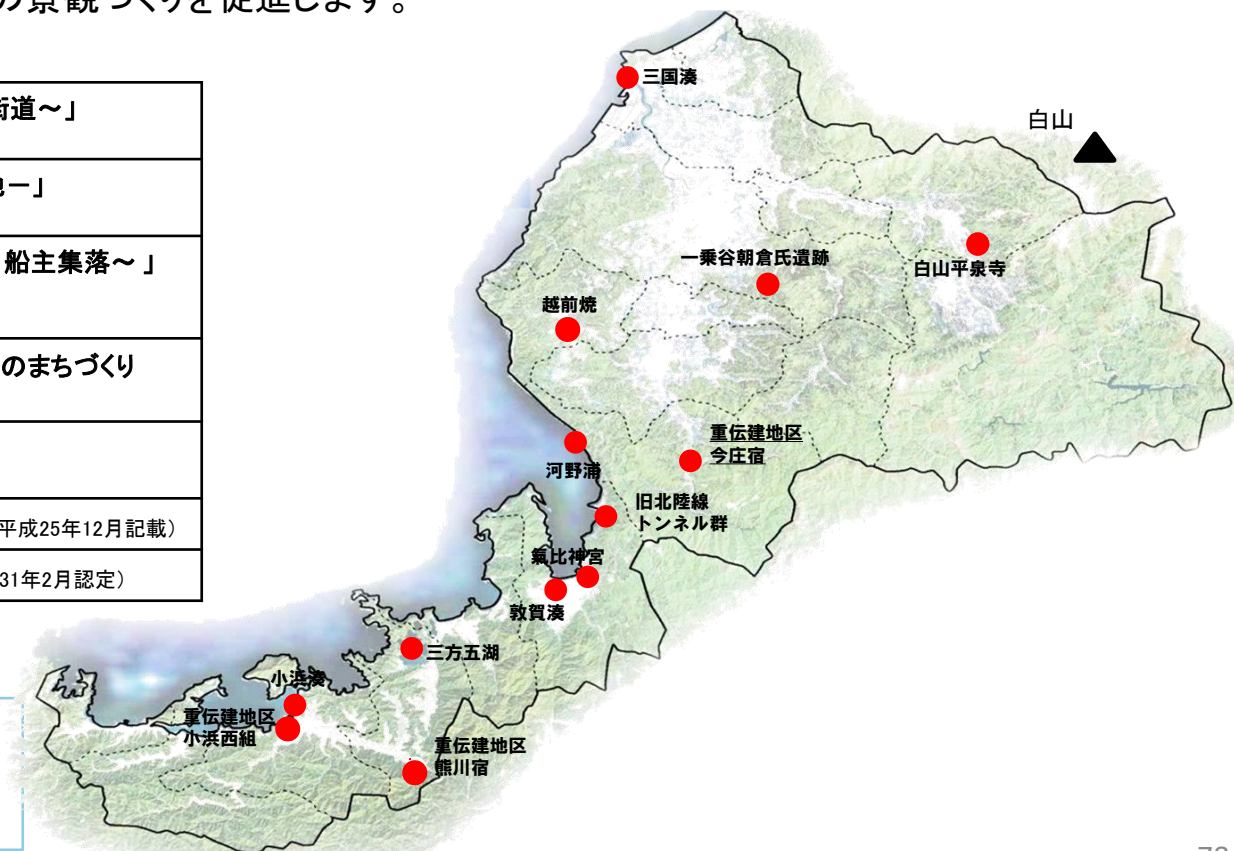
<認定>

日本遺産	「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」 (平成27年4月認定)
	「きっと恋する六古窯ー日本生まれ日本育ちのやきもの産地ー」 (平成29年4月認定 越前町ー越前焼)
	「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」 (平成29年4月認定 敦賀市-敦賀湊、南越前町-河野浦) (平成30年5月認定 坂井市-三国湊、小浜市-小浜湊)
	「400年の歴史の扉を開ける旅 ～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」(令和元年5月認定)
	「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～」 (令和2年6月認定)
他	ユネスコ無形文化遺産:「和食 日本人の伝統的な食文化」(平成25年12月記載)
	日本農業遺産:「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」(平成31年2月認定)

※日本遺産認定は令和2年度で終了

ユネスコ無形文化遺産

「渡来芸・舞台芸(福井市-糸崎の仏舞)」、「田楽(福井市-睦月神事、池田町-水海の田楽・能舞)」の登録要請
「和紙」の追加登録要請(越前市-越前和紙)



主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (4) 里山里海湖の景観の保全・活用

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・福井ふるさと百景の設定(県、2011) ・伝統的民家群保存活用推進地区の設定(県、2011～) ・ふくいふるさと音風景の募集(県、2015) ・福井ふるさと広域景観軸の設定、広域景観ガイドラインの策定(県、2016～) ・屋外広告物の規制強化(県、2016～) ・国体に向けた花の景観づくり(県、2016～2018) ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定(市町、2020) ・新幹線から見える大景観、新幹線を眺める ビュースポット(視点場等)の整備 (県・市町、2018～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成 (県、2016～) ・新幹線開業に向けた花の景観づくり(県、2020～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業後の花の景観づくり

里山里海湖や伝統的民家のまちなみなど、福井らしい景観を創造し、観光資源として発信します。さらに、新幹線車窓から眺望できる大景観と新幹線を眺めるビュースポットをつくります。

広域景観の形成

福井ふるさと広域景観軸の設定



○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・花の景観づくりに関する研修の開催および地域や学校での花づくり活動の支援
(花と緑の美しいまちづくり推進事業 6,652千円)

IV 市町等の応援方策

観光やまちづくりの中心は市町であり、県は広域的視点からの取組みを総合化し、県全体として底上げする役割を担います。本冊子に掲げた各プロジェクトを推進するため、市町が地域住民等とともに実行するプロジェクトを県独自の仕組みをつくり、積極的に応援します。

まちづくり、定住・移住促進に関する主なもの

- 市町協働による地域みらい応援プロジェクト(2020～)
 - ・地域資源の磨き上げや、おもてなし拡大のための二次交通整備、移住・定住を呼び込む環境整備を応援
- ふるさと創造プロジェクト(2012～2017)
 - ・地域資源を活用した市町の魅力ある地域づくりを応援
- 「新ふるさと創造」推進事業(2016～2019)
 - ・ふるさと創造プロジェクトの発展のため、担い手の育成や既存施設の改修を応援
- 新モビリティサービス推進事業(2019～)
 - ・地域公共交通へのICT等の導入や自家用有償旅客運送など、地域の移動手段の利便性向上の取り組みを応援
- 北陸新幹線三駅周辺整備推進事業(2016～)
 - ・新幹線駅設置3市が実施する駅前広場や駐車場などの駅周辺整備を応援
- 並行在来線駅まち魅力づくり支援事業(2023～)
 - ・ハピラインふくいの利用者増加につながる交通利便性の向上や駅を中心としたまちづくりに取り組む市町を支援
- ふくい創生・人口減少対策
 - ・定住や移住促進のため、長期滞在受入に向けた環境整備や空き家の取得等を応援

主な施策

- ・テレワーク推進事業(2020～)
- ・住み続ける福井支援事業(2020～)
- ・空き家対策支援事業(2020～) 等

産業・ビジネス、観光振興に関する主なもの

- 北陸新幹線開業に向けたインバウンド対策事業(2019～)
 - ・観光地・宿泊施設の外国人観光客受入環境整備を応援
- 民宿リニューアル支援事業(2020～2022)
 - ・市町が行う民宿の魅力向上や受入環境整備、地域一体となった観光地再生に取り組む民宿の大規模改修を応援
- 多様な宿泊施設整備支援事業(2023～)
 - ・観光資源を活かしたコンセプトルーム等、来県の目的となるような多様かつ魅力的な宿泊施設の整備を支援
- 観光まちなみ魅力アップ事業(2012～2017)
 - ・伝統的まちなみや地域独自の歴史・文化を活かした観光地のスケールアップを応援(事業費総額 約50億円)
- 周遊・滞在型観光推進事業(2016～2022)
 - ・観光資源をネットワーク化し、エリア全体の誘客力を強化する施策を応援
- 産業観光ビジネス支援事業(2020～)
 - ・デザイナー等の監修による見学・体験メニューを開発する企業を応援
- 農山漁村交流人口拡大施設整備事業(2020～)
 - ・道の駅等からの観光客を農村漁村に呼び込むため、周辺地域を回遊するための施設整備を応援
- 産業団地整備事業(2013～)
 - ・市町における産業団地整備を応援
- 嶺南振興プロジェクト枠予算(2019～)
 - ・関係市町と連携し、観光振興等の地域課題解決に迅速に対応
- 稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業(2022～)
 - ・JR西日本、旅行会社と連携し、魅力ある旅行商品の造成を進めるため、市町が行う体験メニュー開発や観光素材の磨き上げを応援

V 近隣府県との連携プロジェクト

高速交通ネットワークの完成により、福井は東西南北に開かれた地域になります。

そのため、各地の都市や地域、産業、観光などの基盤づくりに加えて、近隣府県と連携し、福井へのヒト・モノ・カネ・情報の行き来を活発化するプロジェクトを重点的に実行します。

- 北陸新幹線沿線地域と連携した福井の食魅力向上・発信事業(2020～)
 - ・北陸新幹線沿線地域等において著名シェフや本県料理人協働による料理イベントを開催し、本県の食と食文化の魅力を発信
- 北陸三県共同観光客誘致拡大事業(2006～)
 - ・石川県、富山県と連携し、Japanese Beauty Hokurikuなどの誘客キャンペーン等を実施
- 北陸新幹線沿線エリアでのPR強化事業(2020～)
 - ・首都圏や北陸新幹線沿線地域において、出向宣伝やイベントの開催等の本県の魅力を発信するPR活動を実施
- 関西・中京圏からの誘客強化事業(2020～)
 - ・JR大阪駅および名古屋駅周辺において恐竜ライブショー「DINO-A-LIVE」等を活用した観光PR を実施
- 関西等の観光団体と連携による「大阪・関西万博」外国人観光客誘致事業(2020～)
 - ・関西の観光団体や万博協会との連携し、万博来場者をターゲットとした広域旅行商品の造成や情報発信等を実施
- 「WAKASAリフレッシュエリア」関西圏大学生発イメージ発信強化事業(2021)
 - ・新幹線全線開業に向け、関西圏大学生が嶺南地域を体験し、イメージビデオを作成、関西圏を中心に発信
- 農産物の販路拡大支援事業(2019～)
 - ・嶺南地域の農産物等の販路拡大や知名度向上を図るため、県内事業者が行う、関西を中心とした県外へのアンテナショップ開設等を支援
- 小松空港を活用した誘客プロモーション事業(2017～)
 - ・石川県との連携による台湾メディアを活用したPR、県民に向けた国際線利用促進のための広報等を実施
- 北陸三県並行在来線連携事業(2023～)
 - ・観光・イベント列車の運行や企画切符の販売、スタンプラリーの実施など北陸三県・三社が連携した事業を実施

【参考】エリア別プロジェクトの体系

※ 黒字は着手済みの事業 赤字は2023年度予算の新規事業等 青字は、新幹線開業後も継続予定の事業

○北陸新幹線

	2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
福井駅	駅舎の整備 ①新幹線駅舎実施設計の完了 ②新幹線駅舎の整備 ③福井市観光交流センターの整備		①新幹線高架下の有効活用
	駅周辺の整備 ①駅西口・東口広場、再開発ビルの整備 ②自然史博物館分館の整備 ③山里口御門・御廊下橋・福の井等の復元 ④天守台跡、散策路の整備 ⑤市道県庁線の再整備 ⑥由利公正広場の整備 ⑦グリフィス記念館の整備 ⑧えちぜん鉄道の高架化 ⑨中央1丁目18番地区(ホテル)の再開発 ⑩中央公園の再整備 ⑪足羽山ビジターセンターの整備 ⑫足羽山公園遊園地「ハピジャン」の整備 ⑬経済界が主体となり、県・市が参画する形で「県都にぎわい創生協議会」の設立 ⑭福井銀行本店ビルの建替え ⑮ハピテラス、中央公園へのプロジェクションマッピングの整備 ⑯中央1丁目10番地区(スーパー跡地)の再開発 ⑰福井城址の活用方策をとりまとめ ⑱県都グランドデザインの策定 ⑲JR福井駅・福井駅西口再開発ビル自転車駐車場のリニューアル	①施設の改修支援や出店に対する相談対応等 ②城址周辺道路等の整備 ③足羽山公園「眺望スポット・駐車場・愛宕橋架け替え」の整備 ④足羽川の賑わい創出・景観維持 ⑤織協ビルの建替え ⑥中央大通り等、道路施設リニューアル ⑦福井駅西口周辺での恐竜コンテンツ整備 ⑧福井城址石垣のライトアップ ⑨福井城址周辺の広場等整備 ⑩中央公園子どもの遊び場整備	①市中心部への都市機能の再集約 ②足羽山公園「園路」の整備 ③四季を通じた自然景観の形成など、足羽山の利活用 ④福井城址の活用方策の実施 ⑤足羽川周辺のにぎわい創出や浜町～愛宕坂～足羽山の磨きあげ、多目的アリーナの整備など、県都グランドデザインの推進 ⑥福井駅前電車通り北地区A街区・B街区の再開発 ⑦福井駅前南通り地区の再開発 ⑧県都まちなか再生ファインドによるリノベーション等支援
	二次交通の整備 ①えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ ②福井鉄道福武線福井駅前線の延伸 ③福井鉄道「市役所前」電停改修、名称変更		①福井駅から主要観光地への特急バスの運行 ②ハピラインふくい、地域鉄道を一体的に組み合わせ、経営とサービスを強化 ③観光利用向けのサービス検討
	周辺の拠点整備 ①一乗谷月見やぐら跡展望所の整備 ②永平寺門前の道路舗装の高質化、商店街の外観統一 ③旧参道、観光案内所の整備 ④永平寺川の護岸改修 ⑤宿泊施設「柏樹閣」の整備 ⑥禅の道(国道364号)の修景整備 ⑦一乗谷朝倉氏遺跡博物館オープン	①特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の再生 ②中世都市遺跡研究の拠点化 ③遺跡の受入環境整備 ④景観に配慮した門前まちづくり整備	①門前地域による事業推進

○北陸新幹線

芦原温泉駅

2022年度時点で終了した事業

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

駅舎の整備

- ①新幹線駅舎実施設計の完了
- ②現駅構内のエレベータ設置
- ③新幹線駅舎の整備

駅周辺の整備

- ①「aキューブ」、ポケットパークの整備
- ②西口立体駐車場の整備
- ③西口賑わい施設、西口交通広場、アクセス道路、東西自由通路の整備
- ④ビジネスホテルの建設

- ①東口交通広場、アクセス道路の整備

- ①周辺観光地との二次交通の充実
- ②駅周辺の賑わい創出

二次交通の整備

- ①あわら温泉ー永平寺間の特急バスの運行

周辺の拠点整備

- ①あわら温泉街の整備
- ②東尋坊周辺の整備、東尋坊活性化の検討
- ③三国湊の町家活用
- ④丸岡城の国宝指定に向けた調査
- ⑤ゆりの里公園の整備
- ⑥道の駅さかい農産物の情報発信ターミナルの整備
- ⑦東尋坊再整備基本計画策定
- ⑧えちぜん鉄道三国駅前広場の整備
- ⑨丸岡バスターミナル周辺の整備
- ⑩丸岡城、天守前広場へのプロジェクションマッピングの整備
- ⑪福井県立大学創造農学科の開設
- ⑫文化財保存活用地域計画の策定
- ⑬越前加賀県境の館の整備
- ⑭吉崎小学校を利用した全天候型遊戯施設「あそぼっさ」の開設
- ⑮みくに龍翔館(新名称:坂井市龍翔博物館)のリニューアル工事

- ①丸岡城周辺のまちなみ整備
- ②道の駅「蓮如の里あわら」の整備
- ③吉崎汀公園場内の改修
- ④蓮如上人記念館の改修
- ⑤宿泊施設の受入環境の整備

- ①首都圏・インバウンド客向けの観光プロモーションの推進
- ②あわら温泉の観光資源の磨き上げに資する環境整備
- ③丸岡城周辺や城下町を含めた城郭全体の歴史的価値を高めるための調査研究の推進
- ④丸岡城と丸岡バスターミナルを繋ぎ、街なか周遊の仕組みと賑わいの創出
- ⑤周辺観光地との二次交通の充実
- ⑥道の駅出荷者協議会の設置
- ⑦丸岡城周辺整備事業
- ⑧ゆりの里公園内(調圧水槽含む)のプロジェクションマッピング及びライトアップの実施
- ⑨東尋坊エリアの再整備(県・市・民間、2020～)
- ⑩東尋坊～雄島～越前松島エリアの観光客受入環境整備(市、2020～)
- ⑪文化財保存活用事業の実施

○北陸新幹線

2022年度時点で終了した事業

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

越前たけふ駅	駅舎の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅舎実施設計の完了 ②新幹線駅舎の整備 		
	駅周辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①南越駅周辺整備基本計画の策定 ②南越駅周辺まちづくり計画の策定 ③新幹線駅周辺まちづくりガイドライン策定 ④東西・南北アクセス道路の整備 ⑤駅西交通広場、道の駅等の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ①越前たけふ駅周辺整備の推進 ②道の駅を中心とした駅周辺の賑わい創出
	二次交通の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①鯖江市バスロケーションシステムの導入 		<ul style="list-style-type: none"> ①市街地や周辺観光地との二次交通の確保
	周辺の拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ①蔵の辻広場、武生中央公園の整備 ②越前市役所新庁舎・庁舎前ひろばの整備 ③市民プラザたけふの整備 ④武生中央公園屋内催事場の整備 ⑤紫ゆかりの館(旧藤波亭)の再整備 ⑥道の駅「西山公園」の整備 ⑦鯖江駅周辺の景観整備 ⑧サンドーム福井へのデザインセンター等移転 ⑨越前古窯博物館の整備 ⑩紙の文化博物館のリニューアル ⑪越前打刃物振興施設、タケフナイフビレッジの整備 ⑫越前箆笥会館の整備 ⑬今庄宿の整備、旧玉村家の改修 ⑭おもちゃハウスこどもと木、あそびハウスこどもと森、ウッドラボいけだオープン ⑮武生中央線の再整備 ⑯さばえSDGs推進センターの整備 ⑰鯖江駅観光案内所の充実 ⑱ラボゼカワダの機能強化 ⑲今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区選定 ⑳北府駅鉄道ミュージアムの整備 ㉑武生中央公園大型遊具等整備 ㉒ツリーピクニックアドベンチャーいけだの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ①紫式部公園の修景整備 ②里山里海湖等の広域景観の形成 ③志津原「道のオアシスフォーシーズンテラス(仮称)」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①鯖江駅と西山公園などを結ぶ動線づくり ②越前陶芸村活性化施設の整備 ③今庄宿や北前船主の館群などを周遊する観光ルートの形成 ④今川宿の重要伝統的建造物群保存地区選定後の保存活用の推進 ⑤まちなか観光サイン整備 ⑥観光事業会社「SGC池田屋」(仮称)の設立 ⑦特定地域づくり事業協同組合の設立 ⑧サテライトオフィスの誘致 ⑨鯖江駅前線の無電柱化 ⑩溪流温泉冠荘リニューアルプランの策定

○中部縦貫自動車道・北陸自動車道

中部縦貫自動車道		2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
福井北・永平寺IC	産業基盤の整備	①国道364号永平寺インター道路整備		①町道(仮称)永平寺インター線整備
	周辺の拠点整備	①永平寺門前の舗装高質化、商店街の外観統一(再掲) ②旧参道、観光案内所の整備(再掲) ③永平寺川の護岸改修(再掲) ④宿泊施設「柏樹閣」の整備(再掲) ⑤禅の道(国道364号)の修景整備(再掲) ⑥道の駅「禅の里」、えい坊館の整備 ⑦「永平寺町四季の森複合施設」の整備	①えい坊館を拠点にしたツアー等開催 ②松岡公園遊具整備	①永平寺を含む広域的な周遊ネットワーク形成 ②松岡公園の遊具等の整備等機能向上
大野・勝山IC	産業基盤の整備	①国道157号大野バイパスの整備 ②勝山インター線の整備 ③国道416号大日峠道路の整備 ④大野市富田産業団地の整備 ⑤重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備 ⑥重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備	①道の駅「恐竜渓谷かつやま」エリアへの企業誘致	
	周辺の拠点整備	①野外恐竜博物館、ディノパークの整備 ②ジオターミナルの整備 ③旧料亭花月楼の再生 ④越前禅定道の再整備 ⑤平泉寺地区の景観および散策環境を整備 ⑥越前おおの城下町の再生 ⑦一乗谷・白山平泉寺の日本遺産認定 ⑧六呂師高原活性化構想の策定	①恐竜博物館の機能強化 ②長尾山総合公園施設の整備 ③県立大学恐竜学部(仮称)の開設 ④星空コンテンツの開発 ⑤星空保護区認定に向けた条件整備 ⑥六呂師高原開発計画策定	①自然保護センターの魅力向上 ②南六呂師区における星空保護区の認定後のフォローアップ ③長尾山総合公園の管理運営 ④サイクルツーリズムの推進
九頭竜IC	産業基盤の整備	①特用林産物生産・加工施設の整備		
	周辺の拠点整備	①和泉地区化石保全計画策定 ②平成の湯の再整備 ③化石発掘体験施設の整備 ④恐竜トリックアート、モニュメント制作 ⑤和泉郷土歴史資料館リニューアル ⑥国民宿舎パークホテル九頭竜客室整備 ⑦九頭竜湖駅の装飾	①山の幸などの素材を満喫できるツアーの造成	①和泉エリアでのツアー造成、観光商品開発
北陸自動車道		①南条スマートIC、アクセス道路の整備 ②公園へのプロジェクションマッピングの整備 ③道の駅「南えちぜん山海里」、公園の整備 ④鯖波工業団地の拡張整備	①恐竜のモニュメントの整備 ②収穫体験施設の整備	①鯖江IC高速バスターミナルの機能拡充への取り組み ②南条SAからの周遊観光ルートの形成

○若狭湾エリア

		2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
敦賀駅	駅および駅周辺のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ①交流施設「オルパーク」の整備 ②敦賀駅前広場の整備 ③新幹線駅舎実施設計の完了 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅舎の整備 ②敦賀駅アクセス道路の整備 ③新幹線駅前広場の整備 ④木の芽川の景観維持 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅前広場からの広域二次交通の充実 ②嶺南全域を案内する観光案内施設の整備 ③駅西・駅東のアクセス道路(第2環状道路)の整備
	駅から金ヶ崎への動線整備	<ul style="list-style-type: none"> ①敦賀駅西地区土地活用エリアのサウンディング型市場調査 ②市立博物館の改修 ③キッズパークつるが開館 ④氣比神宮大鳥居修復工事 ⑤シェアサイクルポート整備 ⑥敦賀市駅前立体駐車場の整備 ⑦敦賀港線の景観整備 ⑧本町通りの歩行空間美装化 ⑨敦賀駅西地区「otta」及びちえなみきの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①名勝おくのほそ道の風景地けいの明神(氣比神宮境内)の保存活用検討 ②みなとつるが山車会館の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①市内を周遊する二次交通の充実 ②商業ビル・個店のリノベーション支援
	金ヶ崎周辺整備構想	<ul style="list-style-type: none"> ①赤レンガ倉庫、ランプ小屋の整備 ②クルーズ船の受入設備の整備 ③金ヶ崎周辺施設整備基本計画の策定 ④人道の港敦賀ムゼウムの機能拡充 ⑤金ヶ崎緑地におけるプロジェクションマッピングの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①史跡金ヶ崎城跡の保存活用整備検討 ②鉄道遺産を巡るSLバスの運行 ③金ヶ崎周辺エリアのまちづくり実行プラン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ①民間資本活用によるオーベルジュ等の賑わい創出施設の整備
小浜市附近駅周辺エリア	市街地の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ①三丁町の宿泊施設の整備 ②まちの駅の整備(旧旭座の移転) ③小浜駅のトイレ改修 ④小浜縦貫線(小浜広峰他)の整備 ⑤鯖街道ミュージアムの整備 ⑥三丁町の景観整備 ⑦民宿リニューアル支援事業による古民家・漁家民宿の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①旧丹後街道の景観整備 ②三丁町の町家等を改修した宿泊施設の整備 ③新たな健康管理センターの整備 ④小浜駅待合室等のリニューアル ⑤市内宿泊施設等の高付加価値化改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①古民家を活用した情報発信拠点の整備 ②小浜西組周辺へのアンテナショップや宿泊施設の整備 ③外国人観光客等の宿泊需要に応じた施設の整備 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ④サテライトオフィスの整備 ⑤小浜ならではの食を提供する店舗の拡大 ⑥小浜縦貫線(大手町他)の整備
	現市街地から新幹線駅周辺のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ①重点道の駅「若狭おばま」の整備 ②若狭おばま周遊レトロバスの運行 ③重点道の駅「若狭おばま」のバスターミナル・レストラン整備 ④重点道の駅「若狭おばま」の機能拡充・全面リニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ①明通寺・鵜の瀬周辺道路の景観整備 ②新幹線駅周辺の整備方針や基本計画および開発計画等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅周辺の開発計画の策定 ②「道の駅」と「まちの駅」、「海の駅」のネットワーク強化 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ③新幹線駅周辺の整備

広域若狭湾 交通体系

2022年度時点で終了した事業

- ①国道27号金山バイパスの整備
- ②小浜線10駅でのレンタサイクル整備
- ③嶺南地域公共交通網形成計画の策定
- ④JR小浜線の増便・時間短縮
- ⑤十村駅の整備
- ⑥丹後くろまつ号の小浜線運行

- ①舞鶴若狭自動車道の整備
- ②国道27号金山バイパスの整備
- ③若狭美浜インター産業団地の整備
- ④敦賀南・三方五湖スマートICの整備
- ⑤敦賀市第2産業団地の整備
- ⑥敦賀博多新規航路開設
- ⑦敦賀港将来計画の策定
- ⑧おい町しごろみらい産業団地の整備

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

- ①美浜駅の整備
- ②デマンドバス等の実証運行
- ③コミュニティバスへのICOCA導入

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

- ①広域バス、小浜線を補完するバス等の運行
- ②レストランバスの運行
- ③JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定
- ④駅のバリアフリー化や待合環境整備の検討
- ⑤京都北部との鉄道接続の強化
- ⑥小浜線での観光列車の運行

- ①敦賀港の新航路開拓
- ②敦賀港鞠山南地区の整備
- ③内浦港ふ頭用地の拡張
- ④舞鶴若狭自動車道の4車線化

2022年度時点で終了した事業

- ①道の駅「三方五湖」の整備
- ②縄文ロマンパークの再整備
- ③三方五湖スマートICの整備
- ④三方青年の家艇庫の整備
- ⑤年縞博物館の整備
- ⑥直売所・楽膳レストランの整備
- ⑦日本農業遺産の認定
- ⑧山頂公園等の整備
- ⑨「園芸LABOの丘」の整備
- ⑩電池推進遊覧船の実証実験
- ⑪農業人材育成拠点施設(観光農園)の整備
- ⑫嶺南地域の結婚・婚活拠点の整備
- ⑬レインボーラインにおけるレストラン・売店等の整備
- ⑭駅前線(美浜)の整備
- ⑮電池推進遊覧船発着施設の整備
- ⑯三方五湖有料道路の再整備・無料開放

- ①ハーバルビレッジの観光山野草園、ビジターセンターの整備
- ②ハヶ峰家族旅行村の再整備
- ③きのこの森体験学習施設の整備
- ④頭巾山青少年旅行村の再整備
- ⑤はまなすパーク施設整備
- ⑥地域づくり拠点化施設(「若狭美浜はまびより(道の駅)」)の整備
- ⑦サイクリングロード・ウォーキングコース整備、サイクルツーリズムの推進

- ①滋賀県・京都府との3府県連携観光促進協議会の設置
- ②美浜町新庄地区のトレッキングコース整備
- ③西の鯖街道および「ハヶ峰～頭巾山」のトレッキングコース整備

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

- ①観光施設駐車場の混雑情報配信の支援

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

- ①自然学習・体験の充実による教育旅行誘致
- ②ナショナルサイクルルートの指定を目指したルート整備

(※大阪開業頃までに実現を目指す施策)

- ①インバウンドにも対応したリゾートエリアの形成
- ②赤礁崎オートキャンプ場の魅力向上
- ③ブルーフラッグ認証ビーチの発信、誘客への活用
- ④城山公園の再整備
- ⑤脇坂公園の整備
- ⑥中寄眺望広場の整備
- ⑦白浜グランピング施設の整備
- ⑧おおい町総合運動公園の合宿施設の拡充

- ①北前船寄港地との広域観光拡大
- ②コンベンションの誘致

	2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業	
広域若狭湾	フード・コースト形成	<ul style="list-style-type: none"> ①ハーバルビレッジの観光山野草園、ピジターセンターの整備(再掲) ②葉草加工施設等の整備 ③植物工場の整備 ④大規模園芸施設の整備 ⑤観光農園の整備(再掲) 		<ul style="list-style-type: none"> ①植物工場の整備 ②スマート園芸施設の整備
		<ul style="list-style-type: none"> ①水産加工施設(敦賀市)の整備 ②熟成魚等の生産加工施設整備 ③食文化館の再整備 ④旧田島小学校を活用した加工・体験施設の整備 ⑤ふくい水産振興センターの整備 ⑥「若狭ぐじ」や「越前がれい」のプレミアムブランドを創出 ⑦「ふくい甘えび」のブランド化 ⑧6次産業施設「UMIKARA」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①高浜漁港の再整備 ②福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備 ③養殖イワガキのブランド化 ④ウナギ漁獲量拡大に向けた放流調査 	<ul style="list-style-type: none"> ①若狭まはたやふくいサーモン、イワガキの養殖生産の拡大 ②水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」の整備 ③シジミやウナギの漁獲量の拡大 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ④陸上養殖の実現 ⑤IoT等を活用した養殖効率化 ⑥京都レストランと連携した小浜よっぱらいサバの特別メニューの提供
	学術・研究拠点	<ul style="list-style-type: none"> ①里山里海湖研究所の設置 ②国際原子力工学研究所の敦賀市への移転 ③アジア原子力人材育成会議の開催 ④年縞博物館の整備 ⑤ハーモニアスポリス構想の策定 ⑥次世代エネルギーパークの認定 	<ul style="list-style-type: none"> ①嶺南Eコースト計画の推進 ②エネルギーの多元化に向けた研究開発支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①国際シンポジウムの誘致 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ②新たな試験研究炉の整備に着手
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ①園芸カレッジ開講 ②かみなか農楽舎の開設 ③漁業集落の活性化 ④福井県立大学創造農学科の開設 ⑤農業人材育成拠点の整備 ⑥チャレンジショップの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①食の学校における食関連産業の担い手育成 ②福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備(再掲) ③観光地域づくりプレイヤーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①水産カレッジの開講 ②水産学術拠点で育成した人材の地元定着
定住戦略	<ul style="list-style-type: none"> ①三丁町や旧丹後街道の街路整備、電線地中化等の実施 ②熊川宿にシェアオフィス「菱屋」を整備 ③移住交流体験施設や体験農園の整備 ④敦賀市立看護大学に大学院・助産学専攻科を設置 ⑤こども家族館のリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ①熊川宿の古民家改修 ②IT・サービス業などの企業誘致 ③熊川地区グランドデザインの策定、プロジェクトの推進 ④住民と地域内外の大学生との協働による地域づくりプロジェクト ⑤メガソーラーや水素ステーションを活用したVPP実証 ⑥VPPと連動したEVカーシェア実証 	<ul style="list-style-type: none"> ①スマートタウン等の整備 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ②駅に近接した子育て支援施設や医療機関等の整備 ③嶺南地域における「スマートエリア」の形成 	

○広域プロジェクト・ソフト施策

	2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ①えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ ②福井鉄道福武線福井駅前線の延伸 ③福井市内循環鉄道の調査 ④えちぜん鉄道の高架化(再掲) ⑤北陸本線へのICOCAの導入 ⑥並行在来線新駅設置可能性調査 ⑦福井県並行在来線経営計画策定 ⑧福井県並行在来線地域公共交通計画策定 ⑨並行在来線新駅設置に向けた測量・設計(王子保・武生間) 	<ul style="list-style-type: none"> ①デマンドバス等の実証運行(再掲) ②嶺北地域交通計画の策定 ③路線バスへのICOCA導入 ④並行在来線新駅設置に向けた詳細設計(王子保・武生間) ⑤ハビラインふくい観光列車導入調査 ⑥えちぜん鉄道 恐竜列車の導入 ⑦福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅からの二次交通の確保 ②JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定(再掲) ③JR越美北線の利便性の高いダイヤ設定 ④小浜線での観光列車の運行 ⑤福井鉄道、えちぜん鉄道へのICOCA導入 ⑥福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの運行 ⑦えちぜん鉄道 恐竜列車の運行
里山里海湖ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ①小規模農業者チャレンジ応援基金造成 ②ふくい農業ビジネスセンターの設置 ③ふくい林業研修センターの整備 ④農遊コンシェルジュの認定 ⑤新たなトレイルコースの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①観光地と農村を回遊する仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①里山里海湖ビジネスを企画・運営する人材の育成 ②ふくいワインカレッジの開講 ③農村を回遊する取り組みの ④オーベルジュの誘致
歴史・文化財	<ul style="list-style-type: none"> ①ユネスコ無形文化遺産「和食」の登録 ②日本遺産「御食国若狭と鯖街道」、「北前船寄港地・船主集落」、「越前焼(六古窯)」、「中世・近世のまちづくり」、「鉄道遺産」の認定 ③日本農業遺産「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」認定 	<ul style="list-style-type: none"> ①一乗谷ミュージアム化の推進(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ①無形文化遺産の登録申請 ②大河ドラマや朝の連続テレビ小説の誘致
景観	<ul style="list-style-type: none"> ①福井ふるさと百景の設定 ②伝統的民家群保存活用推進地区の設定 ③ふくいふるさと音風景の募集 ④福井ふるさと広域景観軸の設定、広域景観ガイドラインの策定 ⑤屋外広告物の規制強化 ⑥国体に向けた花の景観づくり ⑦「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定 ⑧新幹線から見える大景観、新幹線を眺めるビュースポット(視点場等)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①里山里海湖等の広域景観の形成 ②新幹線開業に向けた花の景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線開業後の花の景観づくり